

<平成22年度事業計画書>

1. 褒賞事業・研究支援事業

1-1 褒賞事業

平成21年及び22年中に発表された海洋科学に関する優秀な論文のうちから2編以内の著者に対し、日本海洋学会が授与する日高論文賞に対して副賞（賞金及び賞牌）の贈呈を行う。

1-2 研究支援事業

海洋科学及び技術に関する研究に対する支援の一環として、若手海洋学の研究者に対し、海外渡航費の援助を行う。

2. 調査研究事業（受託事業）

2-1 青森県からの受託事業

津軽暖流の大きな影響を受ける六ヶ所村前面海域において、海洋での放射性核種の挙動等を明らかにする。また、係留式ブイ3号機の係留索の交換をする。

2-2 独立行政法人、公益法人等からの受託事業

- (1) 環境試料の加速器質量分析装置(AMS通称タンデトロン)前処理等業務。
- (2) ヨウ素129の分析及び海水試料の炭素14濃度の測定等。

3. 調査研究等自主事業（自主事業）

3-1 (独) 日本原子力研究開発機構と共同で、海洋モデルの妥当性検証に関する研究を実施する。

3-2 海洋データ同化「夏の学校」

海洋データ同化の重要性に鑑み、海洋力学、数値モデル、データ解析等に関して、資料の集大成を行うと共に、若手研究者、技術者を育成するために「夏の学校」を開設、運営する。

3-3 沿岸海域における長期水中ビジュアルモニタリング手法の調査

(財) 新技術振興渡辺記念会 (研究助成)

沿岸海域での長期の水中視覚的モニタリングに関する技術について調査し、問題点と対策について検討し、より適切な沿岸環境保全対策の立案や環境への理解促進のため、同手法を簡易に実施可能なシステム及び膨大な映像データの効率的解析法について検討する。

3-4 シンポジウム等の開催

関係機関との共催によるシンポジウムを開催する等、研究成果・活動状況を外部へ発信する。

4. 科学技術館の運営事業 (受託事業)

むつ科学技術館の運営及び科学技術普及業務。

5. その他

海洋科学及び技術に関する研究開発・普及啓発活動等、年度途中においても、当財団の目的に合致する範囲内で、諸機関等からの受託及び研究助成を受けた事業を推進する。